

患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を行っております。対象となる患者さんのデータを用いて行いますが、個人のお名前や個人を特定できる情報が公表されることは一切ありません。

研究課題名	多施設共同研究による青森県内で発生した施設外分娩の要因と母児の合併症評価の探索
研究責任者 (共同研究者)	弘前総合医療センター産婦人科 横山美奈子 (健生病院産婦人科 橋本吏可子)
研究目的と意義	<p>日本では周産期医療体制の整備により施設分娩が一般的となっている一方、人口減少や分娩施設の集約化、地域偏在などにより、受診や搬送の遅れが生じ得る状況にあります。また、施設外分娩は発生頻度が低いいため、単施設での経験にとどまりやすく、実態や課題が十分に可視化されていません。</p> <p>青森県は広域であり、特に冬季には積雪や路面状況など地理・気象条件の影響を受けやすく、搬送時間の延長や救急資源の制約が母児の転帰に関与する可能性があり、県内の総合病院に集約される症例を横断的に収集・解析することで、地域特性を踏まえたリスク構造と医療提供体制上の課題（受診行動、救急隊との連携、初期保温・蘇生対応、適切な搬送先選定等）を具体化し、母児の安全確保および周産期救急体制の改善に資する実証的根拠を提示することを目指します。</p> <p>青森県内の分娩取扱施設に搬入・収容された「施設外分娩（自宅・路上・救急車内等の医療機関外で出生した母児）」症例について、発生要因および予後関連因子を明らかにします。</p>
調査対象となる方 (該当期間)	2015年1月1日～2025年12月31日までの青森県内で施設外分娩となった妊婦
研究方法 (使用する情報)	<p>診療録から以下の情報を使用します</p> <ol style="list-style-type: none">①患者基本情報：身長、非妊娠時体重、分娩時体重、非妊娠時 BMI、分娩時 BMI②既往歴等：既往歴、妊娠分娩歴、内服歴、社会歴③分娩に関する情報：分娩場所、分娩週数、施設外分娩に至った理由、分娩時の出血量、バイタルサイン（血圧、心拍数、意識レベル）、血液検査所見、④病院搬送に関する情報：搬送手段、分娩から病院到着までの時間経過、搬送中の治療内容⑤周産期における合併症およびその治療の有無 <p>児に関する情報：出生時体重、Apgar score、合併症、病院到着後の治療内容、出生1か月時の合併症の有無</p>
研究期間	2026年4月10日（倫理委員会承認日）～2028年12月31日
個人情報の取り扱い	個人情報は厳正に管理し、利用する情報から氏名や住所などの患者さんを直接特定できる情報（イニシャル、生年月日、当院 ID など）は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。

お問い合わせ先	<p>この研究に関して新たに患者さんにしていただくことや負担は特にありません。本研究への参加を辞退される場合は、いつでもご遠慮なく研究責任者までご連絡ください。参加を辞退されても患者さんが診療の上で不利な扱いをうけることはありません。</p> <p>お問合せ先：津軽保健生活協同組合 健生病院 産婦人科</p> <p>研究責任者：橋本吏可子</p> <p>電話番号：0172-55-7717</p>
備考	特記なし